



平成24年4月1日
新聞委員会
大久保 田中

LOOK & LOOK

VOL. 40

先輩を訪ねて

辰野高校は平成25年度 創立百周年を迎えます。百周年を前にLOOK & LOOKでは辰野高校の卒業生の中で各界で活躍している方を紹介していきます。

きたはら くにと

エリス・キタノヤ (株式会社キタノヤ電器) 社長 北原國人 さん



**地域電器店のリーダー
全国電気商業組合会長として全国の電気店も引っ張る**

高校在学中はクラブ活動にも熱心だったそうで、商業研究部の部長として沢山の仲間をまとめ活発に活動しました。他にも仲間や先生たちと写真部を作ったそうで、暗室を自分たちで作ったり、現像も自分で行ったりしていたそうです。自分で撮って、現像した写真をコンクールに応募したりもしていたそうです。「高校時代はとにかく楽しかった、よい思い出ばかり」だそうです。

「水戸黄門」出演の写真を見て芸能関係の方かと思った人もいるかもしれませんが、今回紹介する北原國人さんは伊那市のキタノヤ電器の社長さんです。北原さんは昭和二十九年に辰野高校を卒業した私たちの先輩です。



大手家電メーカーのパナソニックとは長年のお付き合いがあるそうです。パナソニックの太陽光発電の売り上げは全国の小売店でもトップクラスだそうです。テレビ時代劇の「水戸黄門」にゲスト出演したのも、パナソニックとの深い関係があったからだそうです。伊那谷を写すために黄門様を伊那に呼ぶことをスポンサーであるパナソニックの関係者に掛け合って実現しました。ドラマに出演した際にも伊那の名物を紹介する台詞をご自分で考えて入れてたのだそうです。

北原さんは家が商店だったことから本校商業科に入学しました。高校時代に経営、経理の基本を学んだことが仕事をする上でとても役立ちました。「商業科でよかったです。簿記の勉強は自分ではできません。」とおっしゃっていました。

高校卒業後は農協に就職し、出納課に数年勤務しました。家業を継ぐために退職され、キタノヤ電器を創業しました。高度成長の時代と重なり、「電気時代の来ると確信したからたさうです。キタノヤ電器は「小売店は地域のお客様のためにある」を信条にきめ細かなサービスで成長し、売上高は長野県内で最優良店に数えられる実績を上げるようになりました。

時代劇「水戸黄門」にゲスト出演



(写真)パナソニックの中村会長、大坪社長との懇談(二〇〇九年) 一番右が北原さん

取材の感想

北原さんは地域や社会でもリーダーとして活躍しています。伊那市に「イーなちゃんカード」を導入したのは伊那商工会議所副会長の北原さんだそうです。また、全国電機商業組合連合会会長として業界発展のために自らの経験や経営哲学を発信しています。

「信州の黄門様」

北原國人さんは気さくで温かい人柄の方でした。パナソニックの中村会長から「信州の黄門様」と呼ばれているそうです。高校時代から現在までの色々なエピソードを聞かせていただきました。自分利益よりもみんなが豊かになることを考えて活動してきたことがよくわかりました。その結果、多くの人に慕われ、地域や業界のリーダーとしての役割を担うようになったのだと思います。



インターンシップ報告会

自分を見つめ、課題をもって行った就業体験は、
将来の仕事について考えるよい機会になりました。
報告会は、豊富な体験を共有する場所ともなりました。



社会人になるとは？



三月一日（火）商業科の一・二年生を対象としたインターンシップ報告会が行われました。
高校生にとっても厳しい就職戦線が続くなか、二年生にとっては「いよいよ自分たちの就職活動が始まる」という気持ちから真剣になりました。一年生にとっても、「今年は自分たちがインターンシップの年を迎える」ということで興味がありました。
私たちにどうして働くとはどういうことか、会社ではどんな仕事をさせてもらえるのか、自分にはどんな仕事に向いているのかと不安がいっぱいです。進学する人も、いずれは就職するのでインターンシップの体験談は参考になります。四人の代表者は、みな、インターンシップを体験する前に、どんなことを学びたいかを考えたといえます。そして十日間の体験が終わったあとも、その課題を大切にしているそうです。
課題はそれぞれですが、共通しているのはコミュニケーション力を高めたいと考えているところと、会社の中での人間関係もありますし、外から来たお客さんとの

人間関係（言葉遣いやマナー）も学びたいと課題をもちました。報告を一緒に聞いた受入れ先の会社の方からのアドバイスでは、「企業活動において社内のコミュニケーションが一番大切で、もっとも難しいこと。インターンシップの第一の目標をそこにおいて実践したことはすばらしい」と話されました。
今年で二年目となる報告会ですが、就業体験先をみつげるところからお世話になってる地元辰野町商工会の方からも、就業体験の意義とか、厳しい就職戦線に立ち向かう上での心構えなどを具体的にお話いただきました。
また先のことと、思っていた就職ということについて、とても身近に感じる報告会でした。



好評！ローメンPAN



辰野高校と松本大学[白戸セミ]の学生がご当地グルメをアレンジ!

ローメンPAN! & 山賊焼PAN!

辰野高校
松本大学

2つのご当地グルメが1度に楽しめるコラボ商品!
1/24 - 2/20 240円

松本大学との共同企画で、コンビニエンスストアのサークルKサンクスで販売したいと欲していたローメンPAN!と山賊焼PAN!は好評のうち販売期間を終えることができました。
長野県内で当初目標とした5千個をはるかに上回る1万4千個あまりが販売されました。地元辰野町の方々や、各地の同窓生の皆さんから暖かな応援をいただきながらの販売で、心強く感じました。こうした応援が販売数量に表れたいものと感謝申し上げます。ありがとうございました。
また、この期間中に伊那市高遠町の同窓生原敏雄さんと安井武夫さんから声をかけていただき、だるま市で初めて販売実習もさせていただきました。あっという間に完売して、お客の集まる市での売れ行きのごさを感じました。
また、伊那の商工会議所を通してローメンズクラブの方々と一緒に、伊那高校駅伝でも、同じ高校生を応援する目的で販売をさせてもらいました。今後とも、よろしくお願いたします。

ありがとうございました